



14003 号
報道関係者各位

2014 年 3 月 11 日

ヤンセンファーマ株式会社
抗 HIV 薬「プリジスタ[®]錠 600 mg」
製造販売承認申請のお知らせ

ヤンセンファーマ株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：ブルース・グッドウィン、以下ヤンセン）は、3月10日に、抗 HIV 薬「プリジスタ[®]錠 600 mg」（一般名：ダルナビル エタノール付加物錠）の日本における製造販売承認申請を行いました。今回の申請は、昨年発売した「プリジスタナイーブ錠[®]800mg」に続くものです。

プリジスタ[®]錠について

「プリジスタ[®]錠」は、抗 HIV 薬の治療経験があり、少なくとも1つのダルナビル耐性関連変異を持つ HIV 感染を対象とする薬剤です。

現在、日本国内では、「プリジスタ[®]錠 300mg」（2007 年発売）に加えて、「プリジスタナイーブ[®]錠 400mg」（2009 年発売）、「プリジスタナイーブ[®]錠 800 mg」（2013 年発売）が発売されており、「ダルナビル」では、4 剤目の剤型となります。

###

以上

ヤンセンについて

我々ヤンセンは、現代においてもっとも重要な「いまだ満たされない医療ニーズ」への対応と解決に力を注いでいます。これには、がん、免疫疾患、精神・神経疾患（中枢神経・疼痛）、感染症・ワクチン、代謝・循環器疾患が含まれます。患者への貢献という強い意思に基づき、革新的な製品、サービスを開発提供し、健康問題の解決に努め、世界中の人々を支援しています。ヤンセンファーマ株式会社は、ジョンソン・エンド・ジョンソンのヤンセンファーマシューティカルグループのひとつです。

将来予測に関する記述

このプレスリリースには、1995 年米国民事証券訴訟改革法の定義する「将来予測に関する記述」が含まれています。本リリースをお読みになる皆さまは、将来予測に関する記述内容に依存することのないようご注意ください。また、本記述は、将来の事象に関する現時点での予想を基礎としています。基礎となる前提が不正確であると判明した場合、あるいは未知のリスクや不確実性が具現化した場合、実際の結果がヤンセンファーマ株式会社およびジョンソン・エンド・ジョンソンの予

想や見通しとは実質的に異なるものとなる恐れがあります。リスクや不確実性には、利子や為替の変動などの経済的要因、技術的な進歩を含む競争、競合他社による新製品や特許の取得、規制当局による承認の取得を含む新製品の開発に本来伴う諸課題、特許に関する問題、医薬品やサービスの購入者の行動・消費パターンの変化や財政的困窮、政府の法律や規制の変更および国内外の医療改革、医療費削減の潮流を含む一般的業界動向および政府機関による医薬品業界への監督強化などが含まれますが、これらに限定されるものではありません。これらのリスクや不確実性およびその他の要因については、2013年12月29日に終了した会計年度のForm 10-Kに記載されているジョンソン・エンド・ジョンソンの年次報告書とその添付書類第99号および米国証券取引委員会への追加提出書類に詳述されています。これらの提出資料につきましては、インターネット(www.sec.gov、www.jnj.com)でご覧いただくか、ジョンソン・エンド・ジョンソンにお問い合わせください。ヤンセンファーマ株式会社およびジョンソン・エンド・ジョンソンはいずれも、新情報や今後発生する事象および事態の進展があった場合も、将来予測に関する記述を更新する義務を負いません。

【本件に関するお問い合わせ先】

ヤンセンファーマ株式会社 コミュニケーション&パブリックアフェアーズ部
担当：野間 e-mail:snoma@its.jnj.com TEL:03-4411-5046 (直通) FAX: 03-4411-5050